

平成 29 年度第 2 回大潟コミュニティ・スクール委員会 議事録

開催日時 場所	進行・記録	出席者・欠席者
平成29年10月31日（火） 18:30～20:00 大潟町中学校 会議室	進行 中野 博史 記録 長谷川和彦	出席委員 ・長澤 英夫(会長) ・高橋 道代(副会長) ・小林 律子(事務局長) ・山崎 晶代 ・土屋 美枝 ・小山 彰 ・磯貝 一子 ・井部 孝一 ・柳澤 恵子 ・熊木 勉 ・塚田 克俊 ・渡辺 章雄 ・佐野 謙一 ・中野 英康 ・竹田 一昭 欠席委員 ・平澤 栄一 事務局 ・中野 博史 ・長谷川和彦 オブザーバー ・合志 淳 ・南雲 民人 ・笠原 賢一 ・岡田 明 ・武田 雅人 ・風巻 利夫
議事内容 1 開会 2 会長あいさつ 3 小・中校長あいさつ 4 議事 （議長は長澤会長） (1) 小学校からの取組状況の説明 ・学校の様子 ・1 学期学校評価の概要 ・全国学力・学習状況調査の結果 (2) 中学校からの取組状況の説明 ・学校の様子 ・1 学期学校評価の概要 ・全国学力・学習状況調査の結果 (3) 質疑 ○小・中学校共にメディアの視聴時間に課題がある。担任している子どもがR18指定のゲームをやっていると聞いた。ゲーム内容を調べてみると、強盗に入ったり、相手を車で追い駆		

け回したりする乱暴な内容である。家庭でのルール作りが必要なのではないか。

○中学校でもR18指定のゲームをしている生徒がいる。親も承知している。

○大潟区の最重要課題である。ゲームを取り上げてもダメで、ブレーキがきかない状況である。親から意識を変える必要がある。大潟の子どもを育てる会では、メディアと生活習慣の講演会を行っている。

○折にふれて何回も話をするのが大事なのではないか。

○ゲームは親が買い与えている。映画でも15歳以下は見てはいけないという制限がある。しかし、「じゃあ、お母さんと一緒なら見ていいの？」と尋ねてくる。そもそも年齢指定というものが分かっていない。

○ネットゲームは、無料から課金するシステムになっている。ゲームやスマホをやり続けるとどうなるかを教え、規範意識を育てることが必要だ。

○中学校のアンケートで、「学校は楽しい」の項目で、否定的評価をしているのは、保護者と生徒で一致しているのか。

○ほぼ一致している。

(4) 小中共同課題の意見交換

- ・小学校の生活科、総合的な学習のカリキュラムについて
- ・中学校の総合的な学習のカリキュラムについて

(5) 質疑、意見交換

○中学校の職場体験に2名の生徒がやってきた。対応に困った生徒がいたので、事前にある程度情報をいただきたい。

○配慮が足りなかった。来年度以降は、生徒の状況を伝えた上で職場体験をお願いしたい。

○行政の現場では、個人情報満載でどこまで仕事をさせてよいか悩む。個人情報を保護するために用務員的な仕事が多くなってしまう。これだけが行政の仕事ではないことを分かってもらいたい。

○仕事を用意し、担当者まで付けていただいた。担当者と相談しながら調整したい。

○生徒は、公務員体験をしたいために職場を選んでいるのではないか。市としても何をさせるのか考えることが必要だ。

○総合的な学習においても保、小、中との関わりがあると良い。

○米の産地なのに米作りの体験をさせていないので残念である。

○総合的な学習の範疇でやっている。学習のねらいがあり、テーマがある。活動の中で地域に働きかけているので、内容が変わってもよい。あれもこれも取り入れると苦しくなる。

○テーマは「大潟」。米作りを学習するのは5年生が多く、近隣の学校では米作りを実施している。大潟町小の場合、田んぼと学校の距離が離れているので、授業時数70時間の枠の中ではできない。大潟には、米づくり以外にもっとよいものがある。

○現在5年生では、学校の実情に合わせて総合的な学習を行っている。

○謙信公祭の際に行われた「まちづくりワークショップ」に参加した。大潟町中学校の生徒の

活躍ぶりに感動した。明日（11月1日）も午後6時30分から「まちづくりワークショップ」のプレゼンを行うのでぜひ見に来てほしい。

○謙信公祭で、生徒は、お客さんが来るように「いらっしゃいませ」の声を出していた。

○10年後の子どもたちの成長が楽しみである。先を見据えた提案である。明日の講演会にはぜひ中学生のワークショップ発表会から見に来ていただきたい。

5 事務連絡

(1) 今後の予定 第3回 平成30年2月6日（火）18:30～

(2) その他 上越市教育コラボ2017学び愛フェスタの参加について

6 閉会のあいさつ（高橋副会長）